



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月8日

上場会社名 佐藤商事株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8065 URL <http://www.satoshoji.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 野澤哲夫  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 桶田昭仁 TEL 03-5218-5312  
定時株主総会開催予定日 2024年6月19日 配当支払開始予定日 2024年6月20日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月19日  
決算補足説明資料作成の有無： 無  
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	273,975	△0.4	6,479	5.6	7,293	8.5	6,478	4.6
2023年3月期	275,006	16.4	6,136	7.0	6,719	7.3	6,194	54.2

(注) 包括利益 2024年3月期 10,705百万円 (62.9%) 2023年3月期 6,571百万円 (33.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	306.89	299.91	10.7	4.3	2.4
2023年3月期	293.34	286.41	11.7	4.3	2.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 47百万円 2023年3月期 48百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	172,870	65,202	37.5	3,081.59
2023年3月期	163,743	56,102	34.0	2,644.27

(参考) 自己資本 2024年3月期 64,819百万円 2023年3月期 55,723百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	8,229	△2,727	△5,788	3,115
2023年3月期	869	175	△876	3,286

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	29.00	—	38.00	67.00	1,413	22.8	2.7
2024年3月期	—	32.00	—	41.00	73.00	1,538	23.8	2.5
2025年3月期 (予想)	—	34.00	—	34.00	68.00		26.8	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（2024年5月8日）公表いたしました「期末配当予想の修正（増額）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	136,000	0.4	2,650	△6.7	2,850	△8.8	2,550	△8.5	120.85
通期	285,000	4.0	6,550	1.1	6,850	△6.1	5,350	△17.4	253.55

（注）1株当たり当期純利益につきましては、2024年4月26日公表いたしました「自己株式の取得状況及び取得終了に関するお知らせ」を加味した数値で算出しております。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	21,799,050株	2023年3月期	21,799,050株
② 期末自己株式数	2024年3月期	764,743株	2023年3月期	725,891株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	21,108,938株	2023年3月期	21,118,350株

（参考）個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	236,384	△2.8	5,734	12.5	5,377	7.7
2023年3月期	243,201	16.8	5,095	2.1	4,993	41.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	254.77	248.98
2023年3月期	236.44	230.85

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	154,932	54,973	35.2	2,595.92
2023年3月期	146,691	47,596	32.2	2,241.20

（参考）自己資本 2024年3月期 54,603百万円 2023年3月期 47,229百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	118,000	△0.0	2,550	1.8	2,650	11.4	125.59
通期	245,500	3.9	5,650	△1.5	4,800	△10.7	227.48

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、アフターコロナにおける経済回復がみられる中、引き続き原材料の高騰や金融資本市場の変動など、依然として不透明な状況が続いておりますが、製造業の生産活動の回復が進んだことや、国内の雇用情勢及び所得環境が改善したことによる個人消費の増加などから、底堅く推移しました。

このような状況下におきまして、当社グループは、第三次中期経営計画で掲げた経営目標の進捗状況を管理しながら各重点課題に取り組んでおり、通期の連結業績は、売上高は2,739億7千5百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は64億7千9百万円（前年同期比5.6%増）、経常利益は72億9千3百万円（前年同期比8.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却等による特別利益の計上により、64億7千8百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

#### (セグメント別の状況)

##### ①鉄鋼事業

鉄鋼事業においては、主要取引業界である商用車業界や建産機業界向けの販売が低調であったこと等により、売上高は1,817億8千5百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は39億4千7百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

##### ②非鉄金属事業

非鉄金属事業においては、地金相場の変動による価格影響等により、売上高は392億8千1百万円（前年同期比4.5%減）となりましたが、前期の商用車メーカーによるエンジン認証問題に伴う出荷停止が続いていた状況から、一部車種の生産が再開したこと等により、営業利益は5億8千8百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

##### ③電子事業

電子事業においては、主力のプリント配線基板用積層板の販売に加えて、液晶、半導体向け部材の輸出及び部品の販売が堅調に推移したこと等により、売上高は358億4千1百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益は16億3千3百万円（前年同期比37.2%増）となりました。

##### ④ライフ営業事業

ライフ営業事業においては、前期に引き続き自社商品販売を推進しましたが、輸入品等の仕入コストが増加したこと等により、売上高は81億4千1百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は2億4千1百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

##### ⑤機械・工具事業

機械・工具事業においては、国内の拠点網を活用しながら、取引先への販売活動を積極的に推進しましたが、売上高は43億9千6百万円（前年同期比29.6%減）、営業損失は6千3百万円（前年同期は営業損失6千4百万円）となりました。

##### ⑥営業開発事業

営業開発事業においては、前期に大型物件があった影響で売上高は45億3千万円（前年同期比1.6%減）となりましたが、原価低減に努めながら主力の商材及び工事案件を適宜受注したこと等により、営業利益は1億3千1百万円（前年同期比130.1%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて91億2千7百万円増加し1,728億7千万円となりました。その要因の主なもの、流動資産において、電子記録債権が増加したこと等により1億5千2百万円増加したこと、固定資産において、土地、投資有価証券が増加したこと等により89億7千4百万円増加したことであります。

当連結会計年度末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて2千6百万円増加し1,076億6千7百万円となりました。その要因の主なもの、流動負債において、買掛金が増加したこと等により2億1百万円増加したこと、固定負債において、長期借入金が増加したこと等により1億7千4百万円減少したことであります。

当連結会計年度末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて91億円増加し652億2百万円となりました。その要因の主なもの、株主資本において、利益剰余金が増加したこと、その他の包括利益累計額において、その他有価証券評価差額金が増加したことであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度に比べ、1億7千万円減少し、31億1千5百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前当期純利益が88億5千1百万円、売上債権の増加額15億1千3百万円、棚卸資産の減少額17億5千6百万円、仕入債務の増加額25億2千3百万円、減価償却費10億5千1百万円、法人税等の支払額25億4千4百万円等により、82億2千9百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得による支出48億6千4百万円、投資有価証券の売却による収入18億7千7百万円等により、27億2千7百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純減額26億1百万円、長期借入れによる収入30億円、長期借入金の返済による支出45億6千万円、配当金の支払額14億7千5百万円等により、57億8千8百万円の支出となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	38.6	40.8	33.2	34.0	37.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	16.2	20.1	16.0	18.3	21.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	4.9	2.1	—	37.7	3.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	22.0	54.1	—	3.4	28.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 2022年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」と「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用や所得環境の改善により緩やかな個人消費の回復が見込まれる一方で、国際紛争等の長期化や世界的な原材料及びエネルギー価格の高騰、金利・為替相場の変動に加え、物流コストの増加や人件費上昇など、依然として先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況下におきまして、当社グループは、第三次中期経営計画にて掲げたビジョン「3つのSINKA」に基づき、多様化する環境に対応しながら、持続的な成長を実現するよう、引き続き重点課題に取り組んでまいります。

次期の通期連結業績予想につきましては、売上高2,850億円、営業利益65億5千万円、経常利益68億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益53億5千万円を見込んでおります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配当金に関しましては、継続的な安定配当として、「連結みなし当期利益の30%以上、かつ下限は1株あたり年間55円」を方針としております。

当期の期末配当金につきましては、1株につき41円とし、中間配当金32円と合わせ、年間では1株につき73円とする案を株主総会に付議する予定であります。

また、次期の配当につきましては、上記の配当方針に基づいて、次期の年間配当金は1株当たり68円（中間34円、期末34円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）につきましては、今後も制度動向等を注視してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,346	3,175
受取手形	7,610	6,298
電子記録債権	25,445	31,395
売掛金	56,134	53,720
商品及び製品	30,349	28,956
その他	5,465	4,933
貸倒引当金	△237	△212
流動資産合計	128,114	128,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,191	16,436
減価償却累計額	△9,896	△10,320
建物及び構築物(純額)	5,295	6,115
機械装置及び運搬具	8,135	8,180
減価償却累計額	△6,563	△6,787
機械装置及び運搬具(純額)	1,571	1,393
土地	10,149	13,001
建設仮勘定	399	838
その他	995	1,075
減価償却累計額	△731	△762
その他(純額)	264	312
有形固定資産合計	17,679	21,661
無形固定資産	177	186
投資その他の資産		
投資有価証券	15,722	20,498
繰延税金資産	76	90
退職給付に係る資産	798	1,079
その他	1,602	1,157
貸倒引当金	△423	△71
投資損失引当金	△5	—
投資その他の資産合計	17,771	22,755
固定資産合計	35,628	44,602
資産合計	163,743	172,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	53,234	55,178
電子記録債務	12,080	13,127
短期借入金	20,253	18,165
未払法人税等	1,456	1,147
契約負債	492	451
賞与引当金	1,669	1,489
その他	2,739	2,570
流動負債合計	91,927	92,128
固定負債		
長期借入金	12,546	10,657
繰延税金負債	2,603	4,311
退職給付に係る負債	154	172
役員退職慰労引当金	72	58
その他	336	338
固定負債合計	15,713	15,538
負債合計	107,641	107,667
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,321	1,321
資本剰余金	838	818
利益剰余金	46,915	51,919
自己株式	△760	△872
株主資本合計	48,315	53,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,312	9,920
繰延ヘッジ損益	△6	0
為替換算調整勘定	1,101	1,711
その他の包括利益累計額合計	7,408	11,632
新株予約権	367	369
非支配株主持分	11	14
純資産合計	56,102	65,202
負債純資産合計	163,743	172,870

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	275,006	273,975
売上原価	253,747	253,125
売上総利益	21,258	20,849
販売費及び一般管理費	15,122	14,370
営業利益	6,136	6,479
営業外収益		
受取利息	5	13
受取配当金	507	838
受取賃貸料	140	125
仕入割引	50	39
持分法による投資利益	48	47
雇用調整助成金	6	0
為替差益	117	58
その他	87	64
営業外収益合計	965	1,187
営業外費用		
支払利息	266	281
売上債権売却損	19	22
賃貸費用	51	25
その他	44	43
営業外費用合計	382	373
経常利益	6,719	7,293
特別利益		
固定資産売却益	2,146	3
投資有価証券売却益	68	1,622
その他	10	5
特別利益合計	2,225	1,631
特別損失		
固定資産除却損	5	2
固定資産売却損	0	—
投資有価証券売却損	0	3
投資有価証券評価損	0	19
関係会社株式評価損	150	45
投資損失引当金繰入額	0	—
その他	—	1
特別損失合計	157	72
税金等調整前当期純利益	8,787	8,851
法人税、住民税及び事業税	2,461	2,259
法人税等調整額	129	111
法人税等合計	2,590	2,371
当期純利益	6,197	6,480
非支配株主に帰属する当期純利益	2	2
親会社株主に帰属する当期純利益	6,194	6,478

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	6,197	6,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	3,607
繰延ヘッジ損益	△15	7
為替換算調整勘定	396	601
持分法適用会社に対する持分相当額	6	9
その他の包括利益合計	374	4,224
包括利益	6,571	10,705
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,568	10,702
非支配株主に係る包括利益	2	3

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,321	862	42,072	△740	43,516
当期変動額					
剰余金の配当			△1,330		△1,330
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,194		6,194
自己株式の取得				△100	△100
自己株式の処分		△23		79	56
その他			△21		△21
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△23	4,843	△20	4,798
当期末残高	1,321	838	46,915	△760	48,315

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	6,325	8	700	7,034	374	8	50,933
当期変動額							
剰余金の配当							△1,330
親会社株主に帰属する 当期純利益							6,194
自己株式の取得							△100
自己株式の処分							56
その他							△21
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△12	△15	401	373	△6	2	369
当期変動額合計	△12	△15	401	373	△6	2	5,168
当期末残高	6,312	△6	1,101	7,408	367	11	56,102

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,321	838	46,915	△760	48,315
当期変動額					
剰余金の配当			△1,477		△1,477
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,478		6,478
自己株式の取得				△176	△176
自己株式の処分		△19		64	45
その他			2		2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△19	5,003	△112	4,871
当期末残高	1,321	818	51,919	△872	53,186

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	6,312	△6	1,101	7,408	367	11	56,102
当期変動額							
剰余金の配当							△1,477
親会社株主に帰属する 当期純利益							6,478
自己株式の取得							△176
自己株式の処分							45
その他							2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,607	7	609	4,224	1	2	4,228
当期変動額合計	3,607	7	609	4,224	1	2	9,100
当期末残高	9,920	0	1,711	11,632	369	14	65,202

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	8,787	8,851
減価償却費	998	1,051
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	318	△377
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	△13
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△164	△281
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17	16
受取利息及び受取配当金	△513	△851
支払利息	266	281
持分法による投資損益 (△は益)	△48	△47
投資有価証券売却損益 (△は益)	△68	△1,619
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△2,140	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,191	△1,513
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,869	1,756
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,140	2,523
その他	1,583	429
小計	3,122	10,206
利息及び配当金の受取額	511	853
利息の支払額	△258	△286
法人税等の支払額	△2,505	△2,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	869	8,229
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,383	△4,864
有形固定資産の売却による収入	2,369	20
無形固定資産の取得による支出	△82	△107
投資有価証券の取得による支出	△23	△26
投資有価証券の売却による収入	19	1,877
関係会社株式の売却による収入	62	160
貸付けによる支出	△49	△12
貸付金の回収による収入	136	91
その他	127	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	175	△2,727
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,514	△2,601
長期借入れによる収入	7,300	3,000
長期借入金の返済による支出	△4,240	△4,560
自己株式の取得による支出	△100	△176
配当金の支払額	△1,319	△1,475
その他	△1	25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△876	△5,788
現金及び現金同等物に係る換算差額	242	117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	410	△170
現金及び現金同等物の期首残高	2,875	3,286
現金及び現金同等物の期末残高	3,286	3,115

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは取り扱う商品をベースとした組織編成を行っており、組織ごとに計画、実績を把握しております。

従って、当社グループは取り扱う商品ごとに「鉄鋼事業」、「非鉄金属事業」、「電子事業」、「ライフ営業事業」、「機械・工具事業」、「営業開発事業」の6つを報告セグメントとしております。

「鉄鋼事業」は、普通鋼、特殊鋼及び建築用の資材、機材を販売しております。

「非鉄金属事業」は、アルミニウム、亜鉛、メタルシリコン、銅合金、その他非鉄製品を販売しております。

「電子事業」は、プリント配線基板用積層板材料、製造にかかわる副資材などを販売しております。

「ライフ営業事業」は、金属洋食器・カトラリー、貴金属・アクセサリ、テーブルウェア及び厨房器具などの業務用品、企業のセールスプロモーション用ノベルティグッズ、パーソナルカラオケなどのほか、北欧デンマークデザインのテーブルウェアブランド「DANSK」や、日本を代表する工業デザイナーであり文化功労者の「柳 宗理」氏のデザイン商品などを販売しております。

「機械・工具事業」は、工作機械及び各種設備・装置、輸入機械、切削工具、研削砥石などを販売するとともに、総合的なファクトリーオートメーションの提案も行っております。

「営業開発事業」は、独自の技術を持つメーカーとともに、時代が求める最新技術と地球環境の保全を考えた「環境配慮型製品」の開発・提案をしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	鉄鋼 事業	非鉄金属 事業	電子 事業	ライフ営業 事業	機械・工具 事業	営業開発 事業	計	調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2) (注3)
売上高									
外部顧客への売上高	184,916	41,122	29,510	8,610	6,243	4,602	275,006	—	275,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	184,916	41,122	29,510	8,610	6,243	4,602	275,006	—	275,006
セグメント利益 又は損失(△)	4,166	483	1,190	302	△64	57	6,136	—	6,136
セグメント資産	104,790	16,882	14,176	4,479	2,189	1,970	144,489	19,253	163,743
その他の項目									
減価償却費(注4)	766	124	45	33	5	5	980	18	998
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額(注5)	2,299	5	49	31	0	—	2,386	78	2,465

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額19,253百万円は、報告セグメントに帰属しない資産であります。
- (2) 減価償却費の調整額18百万円は、報告セグメントに帰属しない資産に係るものであります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額78百万円は、報告セグメントに帰属しない資産に係るものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. セグメント資産は連結貸借対照表の資産合計と一致しております。
4. 減価償却費につきましては、長期前払費用の償却費も含まれております。
5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額につきましては、長期前払費用の増加額も含まれております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	鉄鋼 事業	非鉄金属 事業	電子 事業	ライフ営業 事業	機械・工具 事業	営業開発 事業	計	調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2) (注3)
売上高									
外部顧客への売上高	181,785	39,281	35,841	8,141	4,396	4,530	273,975	—	273,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	181,785	39,281	35,841	8,141	4,396	4,530	273,975	—	273,975
セグメント利益 又は損失(△)	3,947	588	1,633	241	△63	131	6,479	—	6,479
セグメント資産	107,268	16,930	17,333	5,055	1,633	1,847	150,069	22,801	172,870
その他の項目									
減価償却費(注4)	812	104	84	18	5	7	1,033	18	1,051
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額(注5)	4,574	5	260	4	1	0	4,846	126	4,972

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額22,801百万円は、報告セグメントに帰属しない資産であります。
- (2) 減価償却費の調整額18百万円は、報告セグメントに帰属しない資産に係るものであります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額126百万円は、報告セグメントに帰属しない資産に係るものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. セグメント資産は連結貸借対照表の資産合計と一致しております。
4. 減価償却費につきましては、長期前払費用の償却費も含まれております。
5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額につきましては、長期前払費用の増加額も含まれております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,644.27円	3,081.59円
1株当たり当期純利益金額	293.34円	306.89円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	286.41円	299.91円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	6,194	6,478
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	6,194	6,478
期中平均株式数(千株)	21,118	21,108
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	511	491
(うち新株予約権(千株))	(511)	(491)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。